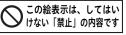
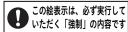
2ハンドル式洗髪シャワー KF64(Z)〈各仕様共通〉

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ●ここに示した <u>↑↑</u> **警 告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。







器具が破損して、やけど、漏水の

給水圧力は給湯圧力より高くするか、

同圧になるようにしてください。 また、湯側を加圧する場合も湯側圧

力を水側より低くしてください。

給湯圧力を給水圧力より高くする

と、正常な温度調節ができなくなり、

やけどをするおそれがあります。

おそれがあります。

給湯温度は85℃より高温で使 用しないでください。



寒冷地仕様の場合

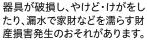
水栓の寿命が短くなり、破損し て、やけどをしたり、漏水で家財 などを濡らす財産損害発生のお それがあります。



通電すると水栓が発熱し、破損 して家財などを濡らす財産損害

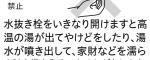
加工及び接合、市販浄水器具の ださい。





配管などの解氷のため解氷機を





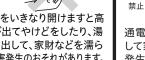
湯温が急上昇することがありま

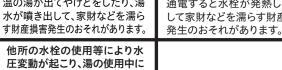
やけどのおそれがありますので、やけ

どのおそれのないところまで水圧変動

をおさえた配管設備にしてください。

1ページ





器具に強い力や衝撃を与えない でください。 注

器具が破損し、けがをしたり、漏 水し、家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。

止水栓の取り付け箇所や給水・給湯 管との接続箇所は、点検口を設ける など点検しやすい状態にしてください。



点検ができないと万一漏水発生時 には発見が遅れて家財などを濡ら す財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの 場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻 くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕 様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓 金具の水抜き操作を行ってください。



水抜きしないと凍結破損で漏水し、 家財などを濡らす財産損害発生の おそれがあります。

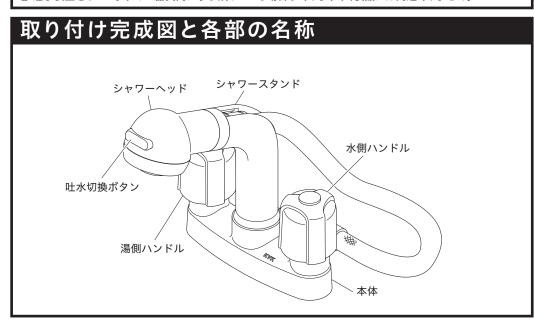
取り付け前に

意

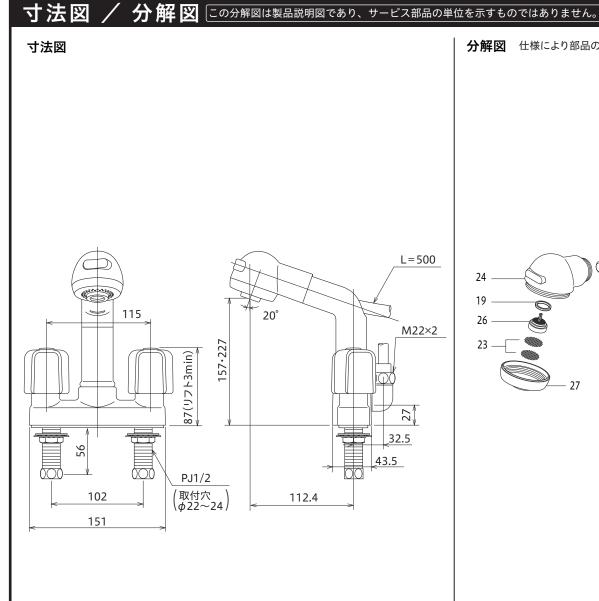
- ① 使用水圧(A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失))
- (1)瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開) (比例制御式)最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ

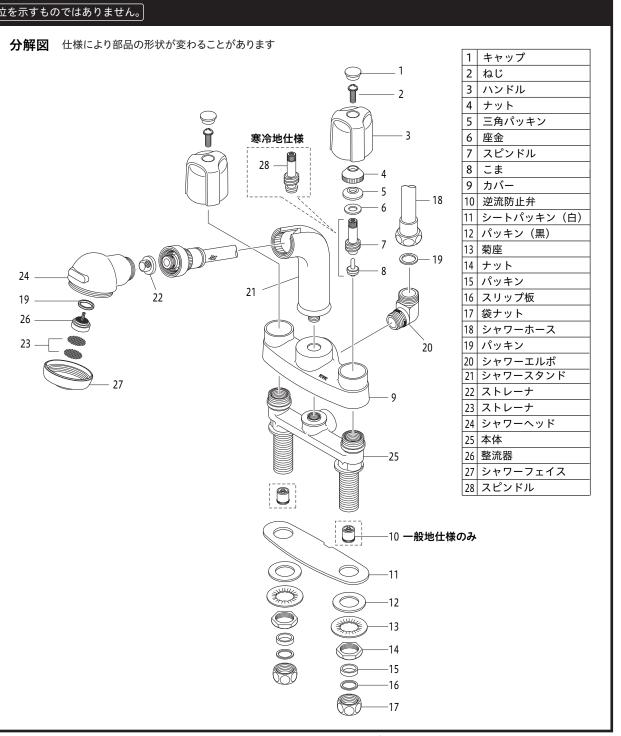
(給湯·給水圧力)最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)

- ② 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ④ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑤ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑥ 本製品は改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑦ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。



2ページ





取り付け手順

給水管内の清掃

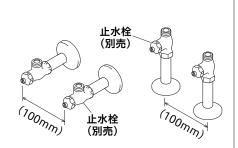
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

止水栓(別売)の取り付け

給湯管と給水管の間隔は100mm程度で取り付けます。 止水栓はストレーナ付が最適です。





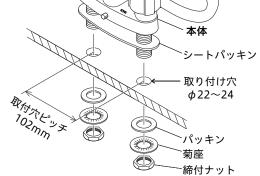


ハンドル

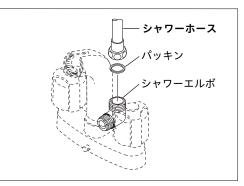
本体の固定 本体を締付ナットで固定します。 【▲注意】 ・ハンドルを持って締め付けますと破損のおそれ がありますのでこれらは持たないでください。

・締付ナットの締め付けは、専用工具G4(別売)で 確実に行ってください。しっかり締め付けられて いないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、 漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそ れがあります。





シャワーホースの接続 シャワーホースをシャワーエルボに取り付けます。



5ページ

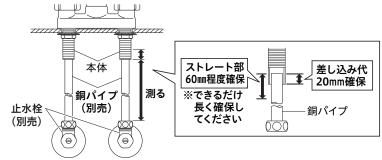
止水栓との接続

銅パイプ接続の場合

① 銅パイプ(別売)の必要な長さを測り、切断してください。このとき、ストレート部60㎜程度・パイプの差し 込み代は20mm確保してください。

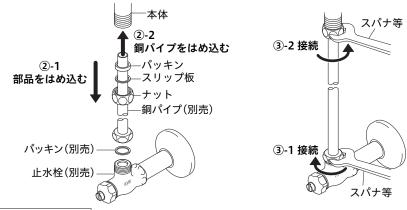
【お願い】銅パイプの切断はパイプカッターをご使用ください。

【 / 注意] 銅パイプ切断および曲げ時に銅パイプストレート部には変形や傷などはないようにしてください。 変形や傷などにより、漏水の原因となります。



- ② 銅パイプにナット、スリップ板、パッキンの順にはめ込んでから、銅パイプを本体にはめ込みます。
- ③ 銅パイプと止水栓を接続してから、銅パイプと本体を接続します。

- 締め付けトルクの目安は約2000N·cmです。
- 締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。 ・薄肉の接続管(ニップル等)には、銅パイプを接続しないでください。
- パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- ・止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。 固定されていないと銅パイプが抜け、漏水の原因となります。



フレキ管接続の場合

フレキ管(別売)のナット部を本体と止水栓(別売)に接続します。

締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。 締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。

6ページ

取り付け後の点検と清掃

通水確認

[_____注意] 水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れが ないことを確認してください。

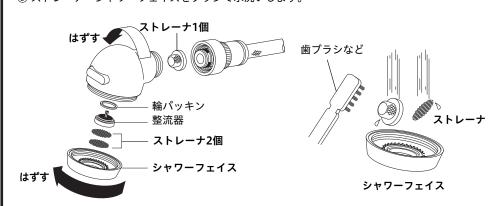
ストレーナ・シャワーフェイス清掃のお願い

シャワーヘッドのストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなく なったりしますので、施工後必ず清掃してください。

- ① 湯水全開で20~30秒吐水させます。
- ② シャワーヘッドの根元とシャワーフェイス内のストレーナ(計3個)を取りはずします。

確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

③ ストレーナ・シャワーフェイスをブラシで水洗いします。



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現	象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
	水量がない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「湯温・流量調節」
		ストレーナ・シャワーフェイスに ゴミ等がつまっていませんか	ストレーナ・シャワーフェイスを 清掃する	7ページ 「ストレーナ・シャワー フェイス清掃のお願い」
		ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換 式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力に セットする	_
		ストレーナ・シャワーフェイスは 凍っていませんか	ストレーナ・シャワーフェイスに ぬるま湯をかける	_
	^{温しか} ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「湯温・流量調節」
	温しか 出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「湯温・流量調節」
I∣ ≖		給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	_
温度	き調節が.	湯側・水側止水弁は十分に開いて いますか	止水弁で流量を調節する	7ページ 「湯温・流量調節」
う	まく	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	_
	きない	ストレーナ・シャワーフェイスに ゴミ等がつまっていませんか	ストレーナ・シャワーフェイスを 清掃する	7ページ 「ストレーナ・シャワー フェイス清掃のお願い」
	水がが散る	ストレーナ・シャワーフェイスに ゴミ等がつまっていませんか	ストレーナ・シャワーフェイスを 清掃する	7ページ 「ストレーナ・シャワー フェイス清掃のお願い」

【 ↑ 注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。

|湯温・流量調節

湯、水ハンドルが全開吐水で適温、適量になるように、止水弁で調節します。

